

今年度における学校の水泳授業の取扱いについて

大阪教育大学附属天王寺小学校

学校長 鉄口 宗弘

令和2年5月22日付スポーツ庁・文科省からの事務連絡において「プール水の遊離残留塩素濃度が適切に管理されている場合においては、水中感染のリスクは低いと指摘されていること」「十分に対策を講じることを前提として、水泳の授業を実施することは差し支えないこと」が述べられています。

これを受けて、本校では臨時休業中から「水泳授業を実施するか否か」について検討を重ねてきました。その結果、以下のような対策を取りながら水泳授業を実施することとします。なお、本校では、水泳授業前に実施しておくべき「健康診断」は7月1日までに実施していますが、健診の日に欠席していて、受診していない場合や二次健診が必要となった場合、健診の結果、医師からの「入水許可」が必要となり、まだ許可を得ていない場合については、水泳授業に参加することはできません。

以下お読みいただき、保護者の皆様には、お子様が水泳授業に参加するかどうかについて、ご判断いただきますようお願いいたします。

文科省が指示している対策項目	昨年度までの対応	今年度の対応・対策
プール水の遊離残留塩素濃度確認	主に体育部の教諭が、朝・昼・夕方方の3回確認する。	毎時間、指導前にプール安全監視担当教諭が、確認する。
ドアノブ・シャワーや洗顔器の水栓など児童が手を触れる箇所の消毒	特に行っていない。	毎時間、児童が退出後、プール安全監視担当教諭が、アルコール消毒を行う。
児童の健康管理	体温チェックカードの提出による体調管理と、保護者の入水確認を「押印」にて確認する。	健康観察カードの提出による体調管理と保護者の入水確認を「押印」にて確認する。さらに、体調が少しでも優れない場合は、授業への参加を見合わせることを保護者へ連絡し、協力依頼する。「入水可」と押印がされていても、養護教諭・担任の判断で入水不可とする。発熱してなくても、「鼻水」「鼻づまり」「せき」「目やに」の症状がある場合は、原則として入水不可とする。
見学児童への対応	テント下の日陰に着席させ、持参した水筒によって、適宜水分補給をうながす。	テント下の日陰にて、1～2m距離を取り着席させる。また、見学時には、マスクの着用と水筒の持参を義務付ける。熱中症対策として「保冷

		剤」を用意し、必要に応じて、血管を冷やすように指導する。
授業中の発話	プールサイドでは、会話禁止。バディ確認の時には、大きな声で発話を促す。	プールサイドでの会話はしないように指導する。またバディ確認も 目視のみ で行う。
プール内・プールサイドでの「密」を避ける工夫	3クラス合同での指導を行っていたため「密」となる場合もある。	1クラスずつの指導へと変更する。ただし1年生は小プールでの指導になるため、さらに男女別の指導を行う。また、プールサイドに2m間隔でテープを貼り、待機場所での「密」を避ける。
	 <p>2 m間隔にテープを貼ったプールサイド</p>	
児童が手をつなぐ、体を支える等の密接する活動は避ける	主に低学年では、ペアでの活動を多く取り入れ、水に慣れる指導を行う。	児童が密接する活動は行わない。
ビート板などの用具の使用	用具は共有して使用する。	原則として、用具は使用しない。使用した場合は、プール安全監視担当教諭が、使用後に消毒を行う。
バディシステム	手をつないで、バディを確認する	手をつなぐ、個別の挙手にて確認する。また、2人組は、約2mの間隔をあけておく。
更衣室での身体的距離の確保	男女別の教室にて更衣を行う。	男子：教室、女子：講堂にて更衣を行う。更衣室は、常時換気を行う。また、「密」になることを防ぐため、教室の場合は指定された「机」、講堂の場合は指定された「パイプ椅子」にて、更衣を行う。更衣の際には、 unnecessary 会話や発声をしないよう、指導する。更衣後は、除菌シートで、机やいすを拭くように指導する。最後に教員が、机・いす・ドアノブ等手を触れる箇所のアルコール消毒
	 <p>女子更衣室（講堂）のようす</p>	

		を行うようにする。(教室の消毒は、担任、講堂の消毒は、プール安全監視担当教諭が行う。)
必要物品(タオル・ゴーグル・水泳帽子など)の貸し借り	貸し借りは禁止。	貸し借りは禁止。

また上記以外にも、以下の点について対応を変更します。

対応項目	昨年度までの対応	今年度の対応・対策
更衣後の集合場所	講堂前	のぼり棒前(「密」を防ぐため)
準備運動場所	プールサイド	のぼり棒前(「密」を防ぐため)
ゴーグル着用	必要に応じて着用	全員必ず着用 (感染症予防のため) * 忘れた場合は、入水不可。
保護者参観	自由に参観可能	参観不可
体温調べカード	検温・押印が必要。検温結果の未記入・押印忘れの場合は、入水不可。	検温・押印・体調チェック・入水判断を記入。押印・入水判断欄が未記入の場合は、入水不可。(検温結果が未記入の場合は、学校で検温する。)
見学時の服装	制服・制帽(ビーチサンダル)	体操服・制帽(ビーチサンダル)
プール学習前 教員研修	<ul style="list-style-type: none"> ・普通救命救急講習 ・ライフセーバーによる水中人命救助研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・普通救命救急講習 ・消毒の仕方の研修 ・「密」にならないための指導法研修 ・熱中症対応研修
時間割編成	学年単位で実施	学級単位で実施 1日に1学年が実施